

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	坂田 温
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	-	<b>内線</b>	245-1770
<b>事務事業名</b>	4233 臥竜公園管理事業						
<b>所 属</b>	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
<b>施 策</b>	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費					
	<b>事業</b>	020000 臥竜公園管理事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
臥竜公園の維持管理と整備				市民の憩いの場としての都市公園整備を充実する。動物園と一体となった観光拠点としての誘客が図れる。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定)</li> <li>・緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定)</li> <li>・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定)</li> <li>・臥竜公園施設改築や緑地整備(除草等)</li> <li>・竜ヶ池の水質改善(一部入替)</li> </ul>

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000
	実績	136,576	142,755	134,919	
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないので動物園の来園者を指標にする。				
最終年度 目標の根拠	過去の実績を基に算定。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		40,156	34,434
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	495
	地方債	0	0
	その他	4,981	2,305
一般財源		35,175	31,634
人員数 (人)	正規職員	1.5	1.5
	嘱託職員	2.9	3.8
	臨時職員	0.9	0.0
人員 コスト	正規職員	10,725.0	10,725.0
	嘱託職員	8,337.5	10,925.0
	臨時職員	1,120.5	0.0
	計	20,183.0	21,650.0
市民一人当たりの経費		1.2	1.1
総額		60,339.0	56,084.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,496	消耗品費1779、燃料費397、食糧費15、印刷製本費375、光熱水費1798、修繕料1132
13節 委託費	16,121	保守点検委託料153、その他委託料15967
15節 工事請負費	2,711	工事請負費2,711
19節 負担金補助及び交付金	2	出席負担金2
その他	15,826	嘱託・臨時職員人件費11683、共済費1829、旅費13、役務費489、使用料及び賃借料1498、原材料費299、公課費13

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,168	消耗品費1395、燃料費378、食糧費15、印刷製本費380、光熱水費1938、修繕料1062
13節 委託費	11,266	保守点検委託料164、施設管理委託料60、シルバー人材センター委託料612、その他委託料10430
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	16	出席負担金16
その他	17,984	嘱託・臨時職員人件費12146、共済費1908、旅費29、役務費512、使用料及び賃借料1521、原材料費300、備品購入費1548、公課費20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	市民の憩いの場であり、県内はもとより国内外からも多くの観光客が訪れる公園として、竜ヶ池周辺の桜の更新や臥竜山の松の植樹、竜ヶ池の水質改善等、維持管理は重要です。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	成果はすぐに現れるものではないが、長野県森林づくり県民税を活用し臥竜山里山整備利用促進基本構想策定や竜ヶ池等周辺施設の長寿命化計画策定をし、課題の早期解決に努めている。竜ヶ池の水質は前年度に比較して改善の方向にある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	竜ヶ池周遊路のぬかるみ対策や竜ヶ池の浚渫、臥竜公園施設整備、臥竜山の里山整備等を補助事業等の財源確保をしながら進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>臥竜公園が市民の憩いの場としての魅力ある環境整備が必要。</li> <li>樹木の整枝、剪定、伐採等はお客様の安全管理のために早期対応に努める。</li> <li>長野県森林づくり県民税を活用し臥竜山里山整備利用促進基本構想により整備に努める。</li> <li>竜ヶ池等周辺施設の長寿命化計画により整備に努める。</li> <li>竜ヶ池の水の入れ替えは、費用をかけずに行える有効な手段であり、毎年継続していきたい。</li> </ul>
---

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市内外から多くの人々が訪れる施設であり、安全第一に考えた施設管理が必要。 施設の老朽化や魅力アップ等により、施設の活性化を含め官民連携事業の導入可能性調査を実施していく。</p>		<p>須坂市民の憩いの場であり、観光客の一番訪れる場所である臥竜公園を、引き続き、魅力を高める取り組みを検討し、各種支援事業を取り入れながら進めていく必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	